

まちづくりプレス

船引町美山地区
(美山まちづくり協議会)

東京の大学生と協力し、地域の魅力を生かした事業に取り組み、新たな担い手づくりを目指す



芝浦工業大学生による現地調査の様子 (薪の里ながとろ)



自分たちが育てたかぼちゃを使ったスイーツ作りをする美山小児童 (よりあい処童)



バケツで育てたお米を羽釜で炊きました (聖石温泉ベースキャンプ)

船引町美山地区では、3年度から福島県「大学生の力を活用した集落復興支援事業」を開始しました。現在、芝浦工業大学(東京都)と連携し、地域の活性化に向けた取り組みを行っています。具体的には地区の子どもたちに、地区と田村市への愛着や誇りを醸成する学びの場や機会を提供すること、若い世代との交流の機会を提供し、既存の資源や人材を生かした事業に取り組むことによって担い手づくりに貢献することを目的としています。

同13日には美山小の児童と学生がリモートでつながり、「未来に残したい美山の風景」をテーマに交流をしました。学生たちが「心に残った風景」をラッキンクで紹介し、美山小近くの見慣れた場所が第1位となり、児童たちは驚いた表情を見せていました。選ばれた理由は「人の手が入りながら、持続可能な循環が生まれている。癒される貴重な風景である」とのことでした。同大学の中口毅博教授から「風景とSDGs(持続可能な開発目標)には関連性がある」と説明がありました。

美山地区では引き続き、芝浦工業大学と協力して地域活性化策を模索していきます。また、美山小児童と市内の若い世代との交流学習を随時実施する予定です。



美山地区代表区長 (美山まちづくり協議会長) 佐藤 篤恵さん

中山間地域は人口減少や高齢化、耕作放棄地の増加などさまざまな課題を抱えています。美山地区も例外ではありませんが、芝浦工業大学の学生の皆さんとともに、若い世代を中心に柔軟な発想で、少しでも地区の活性化が図れればうれしいですね。

各地域のコミュニティ活動はじめ、福祉、環境、スポーツ、教育、伝統などの分野で市民が主体となって活動する団体を市政だよりで紹介します。「わたしたちはこんな活動をしています」「一緒に活動する仲間を募集します」「地域の方と意見交換したい」など、掲載を希望する団体の方は、経営戦略室へご連絡ください。

まごころありがとうございます

- 次の方から市に寄付をいただきました
- ◆ 株式会社エスポール 代表取締役 杉山直之さん (常葉町) 一般寄付金
 - ◆ 株式会社シーワン 四季の宿天瑞 代表取締役 杉山直之さん (常葉町) 一般寄付金
 - ◆ 東部自動車合資会社 代表 羽場愛一郎さん (船引町) 一般寄付金
 - ◆ 福島県中部郵便局長 夫人会 会長 早川恵子さん (郡山市) 一般寄付金
 - ◆ 福島県中部郵便局長 会長 早川桂一さん (郡山市) 物品

エゴマ搾油北部作業所
- 1月の稼働日 -

稼働日…11日(火)、23日(日)

- 受付 午前8時30分～11時30分
- 場所 北部作業所(船引町新館)
- 問い合わせ 産業部 農林課 ☎81-2511

田村市の文化財

問教育部生涯学習課 ☎81・12115

『大鎗矢神社の文化財』

1 576(天正4)年、三春城主田村清顕が奉納したと伝えられる大鎗矢(やじり)が祭られている大鎗矢神社には、国認定重要美術品の「御鉄鉢」と市指定無形民俗文化財の「大鎗矢神社の夫婦獅子舞」の2つが文化財があります。

鉄鉢には、「敬白奉鑄大鎗矢大神御鉢奥州田村庄船引朝国文明十九丁未六月一日 同日谷田根岸大工秀次」と彫ら



1

れており、田村庄に住む船引朝国が1487(文明19)年に日谷田根岸(現在の郡山市日和田町根岸)の大工秀次が作った鉢を大鎗矢神社に奉納したということが分かります。船引という文字は、堂山王子神社の順札納札に書かれていた98(明応7)年よりも古く、はっきりとした年月が分かるものの中で最も古いものです。

また、船引朝国という名前から想像すると船引町中町地区にある船引城の城主かそれに近い人物であったと考えられます。

鉄鉢は仏具として、中世に盛んに神前・仏前におさい銭受けとして供えられており、この鉄鉢は、田村市のみならず福島県内最古のものとして、歴史上、金属工芸上、産業上、文化史上大きな価値を持つものです。市指定無形民俗文化財の「大鎗矢神社の夫婦獅子舞」

は毎年1月3日に氏子の家を巡って舞う「お渡り」が行われていますが、この2年はコロナ禍の影響で巡ることはできず、神前でのみ奉納舞が行われます。オスとメスが一体となった獅子は、長さが5メートルの「おころも」がつきます。夫婦獅子舞は全国的にも珍しく、継承されているものもごくわずかです。

夫婦獅子舞に使われる2頭の獅子頭は、言い伝えでは802(大同2)年に船引時ノ宮に天から降り、地元の人たちが持ち上げようとしたが、誰も持ち上げることができず、大鎗矢神社の宮司が試すと楽々と持ち上げることができたので神社に奉納し、現在に至っているということです。

その他、未指定ではあるものの船引町板橋地区に継承されている板橋太々神楽も毎年4月の春祭りと11月の秋祭(近年では10月末の土日)に大鎗

矢神社に奉納されています。板橋の太々神楽は、1856(安政6)年に当時の瀬川村大倉から伝授されたと言われています。

各地で春、秋の祭りに合わせて舞われている太々神楽や三匹獅子舞については、今後改めて紹介します。



2

- 1_ 大鎗矢神社
- 2_ 市指定無形民俗文化財の「夫婦獅子舞」
- 3_ 国認定重要美術品の「御鉄鉢」

今回は、「佐久間庸軒」を紹介する予定です。田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶